

学校と動物公園との より充実した教育連携を目指して

千葉市動物公園は、積極的に学校との教育連携を図り、発達段階や教科等のねらいに合った教材や学習プログラムを開発し、学校教育に役立つ教育普及活動を推進しています。

この千葉市動物公園「教育活用パンフレット」をご覧ください、生活科や理科、総合的な学習の時間、環境教育やキャリア教育の学習に役立てていただければ幸いです。

(1) 動物への興味・関心を高め、学習の理解を深めるために

★ 出張授業 (予約が必要です。)

飼育員や獣医師、教育普及スタッフが学校を訪問し、授業をしたり学習のお手伝いをしたりします。

小1・小2の出張授業にうかがいます。

① 生活科の活用例 ー校外学習の事前学習に最適！ー

校外学習の事前学習として、動物への興味・関心を高めることを目的に、エサと糞、ツノや歯、卵や羽、ライオンやウマの頭骨で歯の比較などの話など、グループに分かれて実物に触わりながら学習します。(先生方と相談しながら、ねらいに合った学習プログラムを行います。)

保護者の参観も可能です

家庭で、動物について親子の会話が弾み、児童の動物への興味・関心が一層深まります。

小4・小6・中2の理科授業にうかがいます。

② 理科の活用例 ー人と比較しながら学びを深めますー

◆小4「わたしたちの体と運動」

内容：ひづめの足やかぎ爪の足の秘密、速く走るために特化した脚や筋肉のつくりを学習します。
：手羽先を使って、筋肉が動く仕組みを実験・観察します。(人の肘の動きと関連させて学びます)

◆小6「体のつくりとはたらき」

内容：草食・肉食動物の頭骨を観察しながら、歯と食べ物の関係について学習します。
：未消化物の多いゾウのフンとウシやヤギのフンを観察し、消化の仕組みについて学習します。

◆中2「動物の埼玉と生物の進化」

内容：骨格標本を観察しながら、進化の過程や相同器官、環境適応について学びます。

詳細は、HPの学習プランをご覧ください。

授業プランをもとに、先生方と相談しながら、ねらいに合った授業づくりに取り組みます。

③ 環境教育の活用例 (対象：小学校高学年)

◆「野生生物の保全活動と自分たちができること」

オランウータンの住む熱帯雨林は、樹木の伐採、アブラヤシの大規模プランテーション、森林火災などによって急速に減少しています。「保全活動ーオランウータンのためのつり橋作りー」の活動紹介や「オランウータン生き残りゲーム」など、楽しく活動しながら環境と自分の生活について考えます。

④ キャリア教育の活用例 (対象：小学校高学年)

◆「動物公園の役割と仕事」「飼育員や獣医師の仕事」等について紹介するなど、児童の将来の夢の実現に向けて支援します。

(2) 充実した校外学習にするために ー実感を伴った気づきや理解に最適！ー

★ 園内授業 (予約が必要です。)

校外学習で来園された時に、飼育員や獣医師、教育普及スタッフ、動物公園ボランティアが学習のお手伝いをします。先生方と相談しながら、ねらいに合った学習プログラムを行います。

① 「生活科」校外学習で ー視点をもった動物観察で、実感を伴った気づきにつながりますー

複数の動物を比べながら観察できるのは動物公園の大きな魅力です。具体的に視点をもった「じっくり動物観察」がおすすめです。動物の行動の特徴や体のつくりの巧みに児童自らが気付くように、当園スタッフが観察前に動物観察のポイント・見どころを紹介します。

観察後に、動物の解説を聞くこともできます。

② 理科学習でー動物観察を組み込んだ授業プランで実感を伴った理解にー

生きて動き回る動物と骨格標本の両方を観察できるのは動物公園の大きな魅力です。

4年生の理科では、全体でキリンのひづめの足について学んだ後、当園スタッフと一緒に、草原ゾーンの動物(カンガルー、バク、シマウマ、ライオン、ミイアキヤット等)を観察します。子どもたちは、キリンで学んだことをもとに、自ら進んで動物の足や立ち方の違いや様々な発見をしていきます。

③ 環境教育 ー動物観察の後、ゲームを通して楽しく環境について学べます。ー

動物科学館レクチャールームで、「オランウータン生き残りゲーム」をしながら、オランウータンなどの希少動物の生態や現状の課題について学び、環境問題について考えます。さらに実際に希少動物を観察しながら解説を聞くなど、出張授業とは一味違った実感を伴った理解につながります。

★ 動物観察シートの活用ー校外学習時にご活用くださいー

① 19種類の動物観察シート 先生向け動物解説シート及び

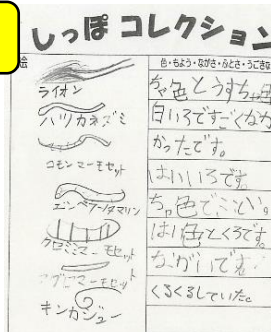
「活用のススメ」もHPからダウンロードすることができます。

② 「しっぽコレクション」

動物のしっぽや耳など、特定の

パーツに注目しながら、観察結果をコレクションします。動物を比べ合わせ、体のパーツの役割を考えることで、楽しみながら動物の不思議さや秘密に気づくことができます。

新規



哺乳類の前肢骨標本セット(ウシ・ブタ・ヒツジ・ネコ・イヌ) 【本物】

(3) 授業づくりのための教材貸し出し

★ 骨格標本(レプリカと本物の標本があります。)



ライオン頭骨標本
【レプリカ】



ウマ頭骨標本
【レプリカ】



アカゲザル頭骨
標本【レプリカ】

★ 模型

ヒトの可動型上肢模型(レプリカ)、ヒトの足関節・靱帯付模型(レプリカ)も貸し出しできます。

理科の授業等で、頭骨標本・模型貸し出しを希望される場合は、動物公園企画広報班または教育普及スタッフまでご連絡ください。
【連絡先】043(252)7566

他にも、ハイエナ、カピバラ、オオカミ【レプリカ】の頭骨標本があります。

(4) 動物公園体験学習プログラム

① 職場体験 (対象：中学校)

【目的】飼育実習の体験を通して、職業に対する理解を深める。

【定員】年間10校受け入れ、各校2名程度

【申し込み方法】電話で受け入れの可否を確認し日程を調整後、「千葉市動物公園飼育実習に関する協定書」を学校と動物公園で交わします。

② 職場訪問 (対象：小学校・中学校・高等学校) (予約が必要です。詳しくはホームページをご覧ください。)

【内容】動物公園での仕事についての学習、施設等の見学や動物の生態についての学習

【定員】1校10名程度

【対応時間】13時～14時の1時間程度

【申し込み方法】電話で受け入れの可否を確認し日程等を調整後、「職場訪問申込書」を記入し提出

(5) 動物とのふれあい体験プログラム

① 子ども動物園 団体指導プログラムの活用 (予約が必要です。)

子ども動物園では、テンジクネズミとハツカネズミのふれあい体験、ヤギのエサやり体験を行っています。(無料)

【対象】小学校2年生まで

特別支援学級・学校は中学校3年生まで

【団体指導対応時間コマ割り表】

コマ	ネズミ類対応時間	ヤギ対応時間
1	10:30～10:45	
2	10:50～11:05	
3	11:10～11:25	
4	11:30～11:45	
5	13:05～13:20	13:05～13:20
6	13:25～13:40	13:25～13:40
7	13:45～14:00	

※5・6コマについては、各動物のいずれか1プログラムずつの対応となります。

【申し込み先・問い合わせ先】

詳しくは、総合案内にお問い合わせください。

総合案内 043(252)1111(代)

② 「ふれあい動物の里」の活用

「ふれあい動物の里」では、ウサギ、テンジクネズミ、ヤギ、ヒツジ、アルパカ、ウマなど、いろいろな動物とのエサやりふれあい体験ができます。(団体割引がありますのでご相談下さい)

【申し込み先・問い合わせ先】

千葉市動物公園ふれあい動物の里 管理事務所 043(290)8989

詳しくは、千葉市動物公園HP内の「学校・団体様向け」ページをご覧ください。



飼育担当者の動物解説
を聞くことができます。

千葉市動物公園 「教育活用パンフレット」

2020年4月改訂版



千葉市動物公園
Chiba Zoological Park